

# 高津倉山

1990. 5. 10 (土)

メンバー

晴

馬場 修爾

湯沢高原に登るロープウェーは、三十七人乗りで混雑して長い列ができていた。リフトを乗り継いで登れるが待つことにする。一時間以上待たされるということだったが案外はやく三十分待って乗車できた。終点に着きゲレンデを滑り降りて高速四人乗りのリフトで登り更にシングルリフトで大峰の尾根に着いた。

シールを着けて縁の尾根を登行した。天気予報通り快晴で雲一つない日本晴れだ。しばらく登ると大峰山1172Mに着いた。昨日あたりツアーレースが着いていた。

シールを外し尾根を滑り出す。気温が高く一昨日降った雪が水分をふくんで回転するのに苦労する。ボーゲンで慎重に回転しシステムクリスマニヤを交じえて降る。

途中何年後かにJ.R.が大規模スキー場を造成しているらしく測量のポール、道路が高津倉山の中腹に出来て、スキー場の注意の達札も立っていた。

栄太郎峠994Mの鞍部でシールを着ける。  
右下には、湯沢高原スキー場が左には苗場山、かぐらスキー場の斜面がはっきり見えた。

正面には、これから登る高津倉山がせまっていく。はじめ縁の尾根を登行し急斜面は、キックステップで方向を換へ登行し広い尾根にあたる。卓独行の若々人が休んでいた。挨拶を交わし左の尾根に入ると清津峡に迷いこむ下

下降点で行動食を食べ休憩した。

右後方には、谷川連峰から大鳥帽子山・巻機山・越後三山、さらに前方には、魚沼の山々遠くに守門岳も眺めることができた。

ブナ林の尾根を滑る。雪が融けて滑りやすい。ボーゲンを交じいで快調に滑りタグの地点の鞍部に着いた。

しばらく階段登行で尾根を登り緩斜面の尾根を登行した。前方の尾根上には、スキーヤの姿が見えた。

林の中をしばらく滑り降り右に滑りこむと松林の中に入り平地に出た。

始め来た時は林道は、無かつて林道をシールを着けたまま登り丸山スキー場の最上部に着いた。

あとはスキー場を快調に滑り道路へ出た。スキー場の下の方は地盤が茶色に劣っていた。

あとは、道路を歩き今日友達と泊まる民宿五新に着いた。

## コースタイム

ロープウェー終点 10:40 → リフト終点 11:00 →

大峰 11:20 → 栄太郎峰 11:40 →

高津倉山 12:30 → トナイの平 13:30 →

丸山スキー場上部 14:00 → 民宿五新 14:30

ルート図

